

## ご寄付のお願い

2011年3月1日から2011年12月1日までにご寄付頂いた皆様方のお名前です。ありがとうございました。

- 若松 隆男様
- イオン九州株式会社 イオン鹿児島ショッピングセンター様
- 岩松 洋一様
- 岸 恭也様
- 岡村 健様
- 佐々木 正修様
- 宮原 明夫様
- 伊佐 眞様
- 重田 浩樹様
- 鉾之原 綾子様
- 赤川 慎子様
- 森主 宜延様
- 久留須 浩一様
- 八田行政書士事務所募金箱様
- 佐々木 正修様
- 鹿児島キワニスクラブ様
- 大西 正孝様
- 河野 嘉文様
- 三木 淑子様
- MBC学園煎茶道教室クリスマス茶会代表 鉾之原 雅園様



認定NPO法人発足に伴う変更事項：  
一般寄付・賛助会費は税控除の対象となりますので、領収書をお送り致します。

### ■一般寄付

本法人の活動意義をご理解頂き、ご寄附を賜りますようお願い致します。現金收受の方法は、事務局へお問い合わせ下さい。

■個人賛助会員：年会費・・・・・・12,000円

■法人賛助会員：年会費・・・・・・120,000円

### ■募金箱

募金箱をお置きいただける店舗・企業・他を募集しております。ご賛同いただける方は、事務局までご連絡下さい。

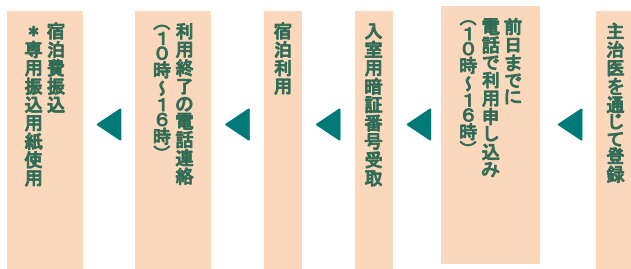
本法人の活動意義をご理解頂き、活動を支援いただける個人又は企業の入会をお願いしております。

入会申込書をホームページからダウンロードして事務局へお送り下さい。

## 「鹿児島ファミリーハウス」のご利用方法

- 鹿児島市内の病院に通院、入院する患児とご家族のための宿泊施設です。
- 基本的な電化製品・台所用品・寝具・他のご用意があります。
- 1,000円/1泊(宿泊人数は何人でもOK)でご利用できます。
- セルフサービス(清掃、ゴミの始末、その他)です。
- ボランティアの方達によって維持管理して頂いております。ご協力を。

### ご利用の流れ



\* (注)要/事前登録/ご希望の方は主治医にご相談下さい。

篤志家のご協力の下に鹿児島市鴨池2丁目(鴨池電停から徒歩1分)にあるビルの部屋(1K、1DK)をご提供頂き、平成19年7月からNPO法人子ども医療ネットワーク運営の鹿児島ファミリーハウスが誕生しました。

お問い合わせ/子ども医療ネットワーク事務局 TEL 099-275-5354

## お問い合わせ先

### 認定NPO法人子ども医療ネットワーク本部

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1  
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内  
電話：099-275-5354

### 認定NPO法人子ども医療ネットワーク事務局

電話：099-275-5354 / FAX:099-265-7196

## 活動について・お約束

**活動** 離島やへき地など、小児医療の専門医が少ない地域に住んでいる子どもさんが、長期間の入院が必要な病気にかかった時に、ご家族を含めて安心して闘病できるように支援する事を目的に設立されました。又、難病等にかかり遠方から来院なさるおこさんとそのご家族にも広く門戸を開き、病気に対する不安や疑問を軽減し、外泊あるいは通院にかかる負担を軽減する為の事業を行います。すべてが皆様の共感とご協力のもとに運営されています。

**お約束** 皆様からお預かりした個人情報は  
・会員のご案内の発送以外の目的で使用する事はありません。  
・ご本人の同意なく第三者に開示・提供する事はありません。

ホームページは随時更新中です

<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~ped/kodomoiryo/>

会員の方々と事務局を結ぶ.....

# こねっと通信

2011.AUTUMN VOL.9



## ■ファミリーハウス

■健康相談会・巡回診療

■子ども救急箱

■ふれあいコンサート

■その他



Save the Children  
私達は離島・へき地の  
難病児を支援します

すべての子どもに適切な小児医療と  
快適な闘病生活を



認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)  
子ども医療ネットワーク

認定NPO法人への寄附は、税額控除の対象となります。



## 追悼 八田淳一朗事務局長

本年初頭に当認定NPO法人事務局長の八田淳一朗氏が急逝されました。東京都葛飾区に本拠を構える行政書士でした。鹿児島島の焼酎をこよなく愛する「焼酎アドバイザー」で、鹿児島島の多数の焼酎業者さんと親交し、縁あってNPO法人子ども医療ネットワークの設立に参画していただきました。平成一七年五月の県庁への法人設立申請から始まり、昨春秋の「認定NPO法人」取得まで獅子奮迅の働きをしながら、平成二三年一月にいわゆる心臓発作で急逝されました。

荒川の堤防を練習場にして自転車を楽しむ、国内外の百kmを越えるロードレースに参加されていまして、健康そのもののだと思っております。

奥様から電話で連絡いただきましたとき、すぐには内容を理解することができませんでしたが、

常々、子ども医療ネットワークの最後の仕事と言いつつ、本場に一生懸命に鹿児島の子どものために活動していただきました。どのようにお礼を言ってもいいのかわからない、感謝を胸に、細くても長く活動を継続していきたいと思っております。

八田さん、どうか安らかに眠りください。  
(理事長 河野嘉文)

## 子ども医療ネットワーク

### 平成23年の活動

10月22日(土)

瀬戸内子ども相談会・講演会

12月4日(日)

沖永良部子ども相談会・講演会



**案内**

認定NPO法人子ども医療ネットワークのホームページは下記URLに移行致しました。  
<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/ped/kodomoiryo/>

平成23年9月で荒田2丁目のファミリーハウス(1室)の使用が終了致しました。今まで提供して下さっていた、渡辺玲子様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

※鴨池2丁目(3室)は、従来通り稼働しております。



## 「子ども救急箱」冊子ご希望の方へ

毎月隔週で南日本新聞に掲載されている「あんしん救急箱」50回、100回を記念してそれぞれ冊子を作成しました。冊子をご希望の方に実費をお振込み頂き、お分けしています。

※詳しくは、ホームページをご覧ください



Vol.1「50回記念」



Vol.2「100回記念」

## 「子ども健康相談会」瀬戸内報告書から

当日は快晴で汗ばむような陽気でした。今開催に向けて、瀬戸内町役場をはじめ、関係者の方々への呼びかけのお願いとともに、小児科を受診されるお母様にも周りの方々に会参加への呼びかけをお願いした甲斐もあつてか、子供さんを連れてきたご両親や、学校・保育に携わる方など、約40名の方が参加してください。子供たちの遊ぶ特設ブースとともに、

抱っこを極端に嫌がる、好き嫌いが激しい、癩癩がひどいなど「育てにくい」と感じる、または得意なこと不得意なことなどでこぼこぼがある子供について相談できる場所があることを知って、心強く感じましたお母様も多かったと思います。

最後に、健康なんでも相談会では、①からだのこと・病気について、②歯について、③発達育児について、④栄養についてそれぞれのブースに分かれて個別相談を実施しました。それぞれに気になることを気軽に聞く機会があり、よかつたとの声をいただきました。

皆さまありがとうございました。

瀬戸内町のお母様方から勧められた、まちだ歯科医院の町田慶太先生から、虫歯予防の5つのポイントについてお話をさせていただきました。次に、奄美大島の児童デイサービス「のぞみ園」の大山周子先生から、子どもの発達・成長の手助けについて講演していただきました。



「こねっと通信」は、会員の方々と本部・事務局を結ぶコーナーです。ご意見・ご要望をドンドンお寄せ下さい。

《宛先》 ●〒890-8520鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内「こねっと通信」係  
●E-mail kodonpo@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

## ご連絡

## 子ども救急箱 《口呼吸》

NPO法人子ども医療ネットワーク会員  
岩崎智憲  
(鹿児島大学小児歯科)  
2011年9月26日新聞掲載

保護者から「子どもの口がいつもあいている」という相談を受けることがあります。

原因は鼻がつまっているために口で呼吸をしたり、以前の鼻づまりのために口で呼吸をするくせがついてしまったり、呼吸とは関係なく口元が緩んで口があいてしまっている場合があります。

鼻は空気中の汚れを取り除くフィルターの役目があるので、鼻呼吸は空気中のウイルスや有害物質が体に入ること、ある程度防ぐことができます。しかし、口呼吸ではこれらを直接吸い込んでしまい、体によくないです。

それだけではありません。口がいつもあいていると歯や歯茎が乾燥し、唾液の持っている歯を保護する働きや、細菌の活動を抑える働きが十分に発揮できず、虫歯や歯肉炎になりやすくなります。

また、歯に色が付きやすくなったり、口が乾燥して口臭の原因になることもあります。

さらに口があいている状態が長く続くと、前歯が出てきたり、面長幅のせまい顔つきになったりと、歯並びや顔の形にも影響してることがあります。

口呼吸をしている子どもの中には「いびき」がひどかったり、息が止まったりする睡眠時無呼吸症候群の子もいるようです。子どもは大人の場合と違い、やせていても起こることが多く、寝起きが悪い、朝から頭痛がある、落ち着きがないなどの理由で学業にも影響すると言われています。また、夜尿の原因になる場合もあるようです。

このように口呼吸にはいろいろな問題があります。口を閉じて鼻だけでの息ができないようであれば耳鼻咽喉科を、それ以外の場合は小児科や小児歯科で専門的な診察を受けるのがよいでしょう。



## 募集

「こねっと通信」表面に掲載させて頂けるお子様の写真を募集しております。上記住所にお送り頂くか、E-mail kodonpo@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp まで

※「子ども救急箱」の記事は2006年4月から隔週に掲載されています。